

SMK-3 ユーザーマニュアル

和文対応モールス信号送信用小型キーボード

概要

キーボードから入力した文字をモールス信号として送信する装置です。英数字・記号送信、5つのメモリ送信、メモリの繰り返し送信、ローマ字による和文モールス送信、送信速度設定、繰り返し間隔設定に対応しています。

キー配列

和 = 和文モード、設 = 設定モード。

					直接打鍵		SP 長押し 和 切替	fn 設 切替		
					M1 設 登録 和 ホレ	M2 設 登録 和 ラタ	M3 設 登録 和 、	M4 設 登録 和 (	M5 設 登録 和)	
1 設 5WPM	2 設 8WPM	3 設 12WPM	4 設 16WPM	5 設 20WPM	6 設 24WPM	7 設 28WPM	8 設 32WPM	9 設 36WPM	0 設 40WPM	
Q 設 リビ間 隔 和	W 設 リビ間 隔	E 設 リビ間 隔	R 設 リビ間 隔	T 設 リビ間 隔	Y 設 リビ間 隔	U 設 リビ間 隔	I 設 リビ間 隔	O 設 リビ間 隔	P 設 リビ間 隔	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	?	
	Z	X 和	C	V 和	B	N	M	/ 和 -		

無印キーは無線機へ直接つながる打鍵用キーです。

セットアップ

- ネジを取り外します。再組立時は締めすぎに注意してください。
- CR2032電池をホルダーへ入れます。
- 3.5mmジャックヘケーブルを接続し、無線機のキー端子へ接続します。無線機は **ストレートキー** モードにしてください。
- 電源スイッチを下側へスライドします。
- ボタンを押すと打鍵されます。

基本操作

通常送信

文字キーを押すと対応するモールス信号が送信キューへ入り、順番に送信されます。

直接打鍵ボタン

キージャック右側のボタンは無線機へ直接つながっています。縦振り電鍵として使用できます。

SPACE ボタン

- 短押し: 単語間スペースを送信
- 長押し: 和文モードへ切替
- メモリー登録時は単語の区切り入力にも使用

自動スリープ: 最終使用から約30分無操作でスリープします。LED消灯・リピート再生停止状態となり、いずれかのキーを押下することで復帰します。

メモリ送信

再生方法

- M1～M5 短押し: 1回再生
- M1～M5 長押し: リピート再生

再生中の割り込み

- 文字キー: 再生停止後、その文字を送信
- 別のメモリキー: 再生停止後、そのメモリ再生へ移行
- fn / SPACE: 再生停止

設定モード

切り替え

fn を押すたびに、通常モードと設定モードが切り替わります。

送信速度設定

設定モードで数字キーを押すと送信速度を設定できます。

キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
WPM	5	8	12	16	20	24	28	32	36	40

リピート間隔

設定モードで Q～P を押すと、メモリリピート再生時の繰り返し間隔を設定できます。

メモリ書き込み

設定モードで M1～M5 を押すと書き込みモードに入ります。

保存可能文字: 英字 / 数字 / ? / / / SPACE

- fn で設定モードへ入る
- 保存先とする M1～M5 を押す
- 保存内容を入力する
- fn を押して保存し、通常モードへ戻る

LED点滅中が書き込みモードです。1メモリ最大127文字、保存時は以前の内容を上書きします。

和文モード

切り替え

- 通常モードで SPACE を長押しすると和文モードへ切替
- 同じ操作で通常モードへ戻る
- 和文モード時はLEDが暗く常時点灯

基本動作

キー入力をローマ字として解釈し、和文モールスへ変換して送信します。

例: KA→カ / KYA→キ ヤ / GYA→キ` ヤ / NN→ン

未確定のローマ字がある間は、LEDが少し明るく表示されます。

特殊キー

キー	Q	X	V	/	?
送信文字	」	ゝ	゜	ー	?
キー	M1	M2	M3	M4	M5
送信文字	ホレ	ラタ	、	(	)

※和文モードではメモリ機能は使用できません。

トラブルシューティング

Q. 正しく送信できません。

A. 3.5mmジャックに最後までプラグが挿入されている確認してください。また、無線機が **ストレートキー** モードに設定されているか確認してください。